

2010年5月26日

モバイル表現研究所が世界初のデジタル×アナログ絵本「PhoneBook™」を完成！

第1弾「POPO and MOMO Ride! Ride!」を5月26日に発売。

- 予約注文だけでアマゾンジャパン総合ランキング7位（5月21日付）を記録！ -

株式会社電通  
株式会社ロボット

株式会社電通（本社：東京都港区 社長：高嶋達佳）が運営する「モバイル表現研究所（英名：Mobile Art Lab.）」（URL：<http://www.mobileart.jp>）は、株式会社ロボット（本社：東京都渋谷区 社長：加太孝明）と共同で、iPhone を活用した新しいコミュニケーション・アイデア「PhoneBook™（ふおんぶっく）」の第1弾「POPO and MOMO Ride! Ride!」を5月26日（水）に講談社より発売します。本の価格は2,980円（税込）で、専用アプリのダウンロード費用は無料。「PhoneBook™」（※1）とは、高機能のデジタルモバイル機器であるアップル社の iPhone と、アナログの本（絵本）とを組み合わせたハイブリッドな本のことです。発売前からブログや Twitter 上で多くの反響を頂いており、予約注文だけで Amazon 本部門の総合ランキング7位（5月21日付）も記録しました。

「モバイル表現研究所」では、研究テーマのひとつとして iPhone を使って、親と子どもの時間を創るアイデアを考えてきました。その結果、絵本の中央部に iPhone を差し込む新たなメディア表現「PhoneBook™」を開発しました。「PhoneBook™」は、子どもが絵本を、親が iPhone を用意して、2人で一緒に楽しむ絵本です。こうすることで「ページをめくって楽しむ」というアナログらしい価値と、「映像・音楽・双方向性」など iPhone が持つデジタルの価値の両方を、親と子どもが一緒に楽しむことができます。

昨年11月から専用WEBサイト（<http://www.mobileart.jp>）で公開していた「PhoneBook™」のコンセプトビデオは、同サイトとYouTubeとで約60万回以上の再生回数を記録しており、その開発が待たれていました。

#### （※1）PhoneBook™（iPhone × Book）

iPhone と、子ども用の絵本を組み合わせた新しいタイプの絵本。物語を読み進めながら、画面をタッチして本の内容に沿った様々なアクションを楽しむことができます。

iPhone というデジタル・デバイスと、本というアナログ・メディアが組み合わせることで、独特の表現が可能となります。



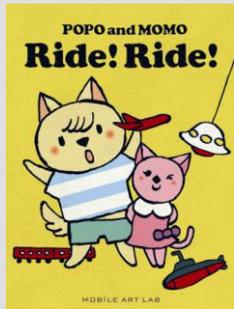
## PhoneBook™ 第1弾 「POPO and MOMO Ride! Ride!」の内容について

### (ストーリー)

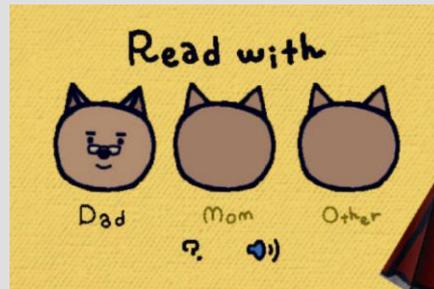
いろんな乗りものに乗ってわかったこと。

それはパパやママの「おひざの上」が1番好きな乗りものだってこと。

いろんな乗りものに乗って世界中を見てみたいと考えていたポポとモモが、電車、飛行機、潜水艦、そして宇宙船と様々な乗りものに乗って旅に出かけます。その旅の最後に2人は、家で帰りを待っている優しいパパとママの「お膝の上」こそ、2人が1番大好きな乗りものだとすることに気がつきます。



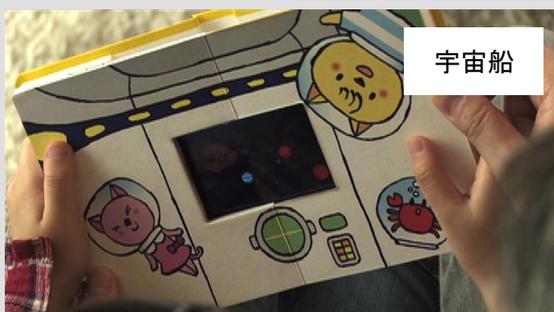
絵本の中に iPhone をセッティングして利用します。本が縁緑の機能を果たすことで、iPhone が新しい見え方をします。



最初に誰と読むかを選択できます。また、英語にも対応しているため世界中の人が PhoneBook を楽しむことができます。



iPhone ならではの、タッチスクリーンを活用したインタラクティブな体験が可能です。



タッチだけでなく本を両手で持って前後左右に動かす操縦など、iPhone の機能をフル活用しています。

## 「モバイル表現研究所」 について

モバイル表現研究所では、これまでも「Pair Movie™」(※2)など、モバイルでしか実現できない体験、表現の開発を行っており、今回は新たに「Analog on the Digital Technology」というキーワードを設定。今回開発した「PhoneBook™」は iPhone が備えているデジタルの価値と、本が持っているアナログの価値とを組み合わせ、新しい表現スタイルです。プリントメディアと映像メディアを組み合わせ、表現により、今後は絵本に限らず、パンフレットやカタログといったビジネス利用、またアートブックや図鑑、教育ツールなど、様々な用途で活用・展開が可能です。

- 研究所長 細金正隆 (電通 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)
- プロジェクトリーダー 岸勇希 (電通 コミュニケーション・デザイナー)



モバイル表現研究所TOP画面  
(<http://www.mobileart.jp>)

### (※2) 「Pair Movie™」

モバイル表現研究所が制作した複数のディスプレイを並べて、空間や心理描写を再現するモバイル専用の動画手法。モバイル動画は一般的に1つのディスプレイで楽しむものという既成概念を覆し、2つ以上のディスプレイを自由に組み合わせて楽しむ動画コンテンツ。

第56回「カンヌ国際広告祭 (CANNES LIONS 2009)」メディア部門で、電通制作の「ペア・ムービー『素直になれたら』(広告主:ソニー・ミュージックエンタテインメント)」が金賞を受賞。同年シンガポールで開催されたスパイクスアジア2009デジタル部門でグランプリを受賞するなど、海外の広告賞を多数獲得。



<ペア・ムービー™再生イメージ>

#### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

- (株) 電通 広報部 市川 剛、林田 望 TEL : 03-6216-8041 / FAX : 03-6217-5515
- (株) ロボット 管理部 五郎丸 弘二、中上川 康二 TEL : 03-3760-1064 / FAX : 03-3760-1347

#### 【研究所、その他お客様からのお問い合わせ先】

- 「モバイル表現研究所」 <http://www.mobileart.jp>
- 「PhoneBook」 <http://www.mobileart.jp/phonebook.html>